

施策評価表

平成29年度分

① 施策コード	5・1・2						
② 施策名	資源循環利用の推進	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎	
③ 目標	豊かで住みよい環境に満足している町民の割合						
④ 現状と課題	<p>◆ 本町は273.30km²と広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその支流域は、多くの優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけでなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。</p> <p>◆ 潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。</p> <p>◆ ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまでも様々な取組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしなが、より一層環境に配慮した取組みを推進していくことが望まれます。</p>			施策の内容	資源循環を基本的な取組みとし、3R【Reduceリデュース(廃棄物の発生抑制)、Reuseリユース(再使用)、Recycleリサイクル(再資源化)】に町民等が主体的に取組めるような支援を行いません。また、家庭や事業所から排出される廃棄物の適正処理を確保するとともに、廃棄物の不適正排出や不法投棄の対策を強化し、長期的に安心・安全で環境に与える負荷を低減させるごみ処理体制の確保を図ります。		

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
町民参加型環境講座参加者数	人	20		20	20	20	30	
リサイクル率	%	23.7		25.0	25.0	25.0	25.0	
			22.0	25.4	26.0			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度	30年度(計画)	31年度(計画)
	33,993	34,300	34,761	34,811	34,811

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル率は横ばいを維持し、小型家電のイベント回収時に衣類の資源物回収も行うようになった。 ・集積所の現状をデータ化すると共に、適正なごみの排出・収集運搬により、環境保全の維持に貢献した。 	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	<p>【◎】おおむね順調</p> <p>【○】いっそうの推進が必要</p> <p>【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

今後の取組

⑩ 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・仙南クリーンセンターの見学会を増やし、廃棄物・環境意識を向上させていく。出前講座と小型家電回収の宣伝も継続して行う。 ・集積所の問題(老朽化、資源物持ち去り、収集マナー)、利用者からの要望(収集品目の調整など)に関する情報収集を強化していく。
---------	---

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】